

PM_{2.5}の環境基準超過をもたらす地域的／広域的汚染機構の解明

＝Ⅱ型共同研究第6期報告書＝

国立環境研究所・山形県環境科学研究センター・新潟県保険環境科学研究所・札幌市衛生研究所・群馬県衛生環境研究所・埼玉県環境科学国際センター・千葉県環境研究センター・神奈川県環境科学センター・富山県環境科学センター・福井県衛生環境研究センター・岐阜県保健環境研究所・愛知県環境調査センター・三重県保健環境研究所・京都府保健環境研究所・(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所・(公財)ひょうご環境創造協会兵庫県環境研究センター・奈良県景観・環境総合センター(杉本恭利・浦西克維・山本真緒)・和歌山県環境衛生研究センター・名古屋市環境科学調査センター・大阪市立環境科学研究センター・島根県保健環境科学研究所・香川県環境保健研究センター・愛媛県立衛生環境研究所・高知県環境研究センター・福岡県保健環境研究所・熊本県保健環境科学研究所・大分県衛生環境研究センター・福岡市保健環境研究所・熊本市環境総合センター

Ⅱ型共同研究第6期報告書

平成28～30年度の3ヵ年、地方環境研究機関のべ51機関により国立環境研究所と地方環境研究所が共同で研究する制度、Ⅱ型共同研究「PM_{2.5}の環境基準超過をもたらす地域的／広域的汚染機構の解明」を行った。この研究では、対象を微小粒子状物質に絞り、常時監視データや成分分析データを用いた全国データ解析、高濃度汚染時の一斉観測及び解析、また汚染要因解析として地域に特化した(都市汚染、輸送汚染、閉鎖性海域汚染)の解析、化学輸送モデルによる地域別寄与評価などを進めて、PM_{2.5}の実態を解明し、発生源の汚染機構の知見を得る研究を実施した。

